

〔著 訳 者 紹 介〕

(掲載順)

清水 正之 しみず・まさゆき

聖学院大学学長，聖学院大学総合研究所副所長。東京大学文学部倫理学科卒業（1971年），同大学院博士課程単位取得満期退学（1977年），博士（人文科学，お茶の水女子大学，2013年）。2007年より聖学院大学教授，アメリカ・ヨーロッパ文化学研究所長・人文学部長を経て現職。日本倫理学会常任評議員，東大学生キリスト教青年会理事。専門は倫理学・日本倫理思想史。〔著訳書〕『日本思想全史』（筑摩書房），『国学の他者像——誠実と虚偽』（ペリカン社），『甦る和辻哲郎——人文科学の再生に向けて』（共編著，ナカニシヤ出版），『岩波講座 日本の思想』第四卷（共著，岩波書店），『教会と学校での宗教教育再考』（共著，オリエンズ宗教研究所）。ヘルマン・オームス『徳川イデオロギー』（共訳，ペリカン社），ほか。

高橋 義文 たかはし・よしぶみ

アンドリューズ大学大学院修士課程修了，東京神学大学大学院博士課程修了。神学博士（東京神学大学）。三育学院短期大学教授・学長，エモリー大学客員研究員，聖学院大学大学院教授を経て，現在，聖学院大学客員教授，聖学院大学総合研究所所長。〔著訳書〕『キリスト教を理解する』，『ラインホルド・ニーバーの歴史神学』，『ニーバーとリベラリズム』，『パウル・ティリッヒ研究』（共著），『教育の神学』（共著），チャールズ・C・ブラウン『ニーバーとその時代』，ジョン・ウィッテ『自由と家族の法的基礎』（共監・共訳），ラインホルド・ニーバー『ソーシャルワークを支える宗教の視点』（共訳），ほか。

江藤 直純 えとう・なおずみ

ルーテル学院大学学長。日本ルーテル神学校教授。
一橋大学卒。日本ルーテル神学大学（現ルーテル学院大学），神学校卒。立教大学大学院修士課程，シカゴ・ルーテル神学校大学院博士課程修了。神学博士（Th.D.）。
日本基督教学会理事，日本ルター学会会員，日本ボンヘッフアー研究会会員，日本キリスト教社会福祉学会会員。日本エキュメニカル協会理事，日本FEBC理事長，学校法人ルーテル学院理事。
〔著訳書〕『人物でたどる礼拝の歴史』（共編，日本キリスト教団出版局，2009年），『共同の宣教に召されて』（共編訳，教文館，2008年），ローマ・カトリック教会，ルーテル世界連盟『義

認の教理に関する共同宣言』(共訳, 教文館, 2004年), 一致に関するルーテル=ローマ・カトリック委員会『争いから交わりへ』(共訳, 教文館, 2015年), その他多数。

白 忠 鉉 ベク・チュンヒョン

長老会神学大学校助教授(組織神学, ヨムクアン教会協力牧師)。

韓国ソウル大学校哲学科(B.A.), 韓国長老会神学大学校神学大学院(M.Div.), 米国プリンストン神学校(Th.M.), イェール大学神学大学院(S.T.M.), バークレー神学大学院連合(Graduate Theological Union, Ph.D.)。

〔著書〕『내재적 삼위일체와 경륜적 삼위일체(内在的三位一体と経綸的三位一体)』(2015), 『남북한 통일을 위한 삼위일체적 평화 통일신학의 모색(南北韓統一のための三位一体的平和統一神学の模索)』(2012), The Holy Trinity - God for God and God for Us, Eugene: Pickwick Publications, 2011. その他多数。

洛 雲 海 ナグネ

日本人。東京神学大学大学院修士課程卒。延世大学校韓国語学堂卒。長老会神学大学校大学院博士課程卒。韓国長老会神学大学校助教授(組織神学)。神学博士(長老会神学大学校)。ソウル・セムナン教会(大韓イエス教長老会統合)協力牧師。

〔論文・訳書〕「伝道のパースペクティブにおける聖霊論——理性・霊性・身体性を統合する統合的聖霊論のための序説的試論」『季刊教会』No. 92。(東京:日本基督教団・改革長老教会協議会・教会研究所, 2013), 「説教のことばと説教者の生——ことばの受肉をめぐる説教者論」『神学』75号, 山口隆康教授献呈論文集, 東京神学大学神学会(東京:教文館, 2013), ‘춘계(春溪) 이종성 박사의 종말론’ 책인 편집 김도훈・박성규(「春溪 李鍾聲博士の終末論」) 責任編集金道訓・朴成奎『춘계 이종성 박사의 생애와 사상(春溪 李鍾聲博士の生涯と思想)』(서울: 장로회신학대학교출판부, 2014)ほか, 論文翻訳・書評多数。

尹 哲 昊 ユン・チョルホ

韓国長老会神学大学校教授・大学院長, 組織神学, オンヌリ教会 碩座教授。

韓国長老会神学大学校(Th.B.), 韓国長老会神学大学校神学大学院(M.Div.), 米国Princeton神学校(Th.M.), 米国Northwestern大学Garrett Evangelical神学校(Ph.D.)

〔著書〕『성서・신학·설교(聖書・神学・説教)』, 『현대신학과 현대개혁신학(現代神学と現代改革神学)』, 『통전적 신학(統全的神学)』(共著), 『21세기 한국교회와 하나님 나라를 위한 실천신학(21世紀の韓国教会と神の国のための実践神学)』, 『세계와의 관계성 안에 계신 하나님(世界との関係性の中におられる神)』, 『신뢰와 의혹: 통전적인 탈근대적 기독교 해석』

학 (信頼と疑惑——統全的・脱近代的キリスト教解釈学)』, 『신학과 말씀 (神学の言葉)』, 『삼위일체 하나님과 세계 (三位一体の神と世界)』, 『너희는 나를 누구라 하느냐 통전적 예수 그리스도론 (あなたがたはわたしを誰だということか——統全的イエス・キリスト論)』, ほか多数。

〔訳書〕 Peter C. Hodgson, Robert H. King編 『현대기독교조직신학 (現代のキリスト教組織神学)』, Ted Peters編 『과학과 종교: 새로운 공명 (科学と宗教——新しい共鳴)』 (共訳), Paul Ricoeur 『해석학과 인문사회과학 (解釈学と人文社会科学)』, Alister E. McGrath 『천국의 소망 (天国の望み)』 (共訳), David Tracy 『다원성과 모호성 (多元性と曖昧性)』 (共訳), 『현대신학자들의 설교 (現代の神学者たちの説教)』 (編訳) など。

関根 清三 せきね・せいぞう

聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科特任教授。

東京大学大学院人文社会系研究科倫理学専攻博士課程修了。東京大学より博士 (文学), ミュンヘン大学より Th.D.。東京大学大学院人文社会系研究科教授を経て, 現在, 同名誉教授。

〔主要著訳書〕 *Die Tritojesajanische Sammlung redaktionsgeschichtlich untersucht*. BZAW175, de Gruyter, 1989, 『旧約における超越と象徴——解釈学的経験の系譜』 (東京大学出版会, 1994年), 『イザヤ書』 (旧約聖書7, 岩波書店, 1997年), 『旧約聖書の思想——24の断章』 (岩波書店, 1998年〔改訂版, 講談社学術文庫, 2005年]), *Transcendancy and Symbols in the Old Testament: A Genealogy of the Hermeneutical Experiences*. BZAW275, de Gruyter, 1999, 『倫理思想の源流——ギリシアとヘブライの場合』 (放送大学教育振興会, 2001年〔改訂版, 2005年]), 『倫理の探索——聖書からのアプローチ』 (中公新書, 2002年), 『エレミヤ書』 (旧約聖書8, 岩波書店, 2002年), *A Comparative Study of the Origins of Ethical Thought: Hellenism and Hebraism*. Rowman & Littlefield Publishers, 2005, 『旧約聖書と哲学——現代の問いのなかの一神教』 (岩波書店, 2008年), 『ギリシア・ヘブライの倫理思想』 (東京大学出版会, 2011年), 『アブラハムのイサク献供物語——アケダー・アンソロジー』 (編著, 日本キリスト教団出版局, 2012年), *Philosophical Interpretations of the Old Testament*, BZAW 458, de Gruyter, 2014.

高橋 愛子 たかはし・あいこ

国際基督教大学行政学研究科博士課程単位取得退学。学術博士 (2003年, 国際基督教大学)。恵泉女学園大学非常勤講師を経て, 2004年4月より聖学院大学政治経済学部政治経済学科助教教授, 現在, 同学科教授。

〔著書〕 初宿正典・古賀敬太編 『カール・シュミットとその時代』 (共著, 風行社, 1997年), 姜尚中・齋藤純一編 『逆光の政治哲学』 (共著, 法律文化社, 2016年)。

〔翻訳〕 H・クヴァーリチュ編 『カール・シュミットの遺産』 (共訳, 風行社, 1993年), 古賀敬太・佐野誠編 『カール・シュミット時事論文集』 (共訳, 風行社, 2000年), C・ムフ編

『カール・シュミットの挑戦』（共訳，風行社，2006年），J・タミール『リベラルなナショナリズムとは』（共訳，夏目書房，2006年）。

〔論文〕「《国家理性》再考」『社会科学ジャーナル』No.48（ICU-SSRI，2002年），「『シュミット問題』が投げかけるもの」『社会科学ジャーナル』No.53（ICU-SSRI，2004年），「〈合法性〉をめぐる二つの次元——法と政治の間についての一試論」『聖学院大学総合研究所紀要』No.39（聖学院大学総合研究所，2007年），「〈合法性〉と〈状況適合的擬似合法性〉の間——「パーペン・クーデター」事件から「国事裁判」へ」『聖学院大学総合研究所紀要』No.47（聖学院大学総合研究所，2010年），「〈合法性〉の空洞化——一九二〇年代のドイツにおける経済の独占化過程と議会外立法様式」『聖学院大学総合研究所紀要』No.60（聖学院大学総合研究所，2015年）他。

佐藤 千瀬 さとう・ちせ

東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科（博士課程後期）学校教育専攻修了。博士（教育学）。2006年4月より聖学院大学人間福祉学部児童学科所属，2013年4月より同准教授。専門は，幼児教育と異文化間教育。

〔著書〕『多文化社会の偏見・差別——形成のメカニズムと低減のための教育』（分担執筆，明石書店，2012年），『多文化保育・教育論』（分担執筆，みらい，2014年），『異文化間教育学体系3 異文化間教育のとらえ直し』（分担執筆，明石書店，2016年）。